

# お茶に関する歴史的な史跡

## 京田辺市 KYOTANABE-SHI

### 一休寺

とんちの一休さんのお寺として知られている酬恩庵（通称、一休寺）は、一休禅師が88歳で亡くなるまでの晩年、ここを住まいとしたところ。日本茶道の創始者である村田珠光や能楽の今春禅竹など多くの文化人が訪れています。

交通：近鉄新田辺駅から徒歩25分、JR京田辺駅から徒歩20分  
京奈和自動車道「田辺北」から約5分。駐車場あり。(有料)

拝観料：大人500円、子ども250円



### 大御堂観音寺

天武天皇の勅願によって義淵僧正が創建しました。その後、聖武天皇の御願によって良弁僧正が伽藍を増築し、息長山普賢教法寺と号し、十一面観音立像を安置したといわれています。法相・三論・華嚴の三宗を兼ね、七堂伽藍は壮麗を極め「筒城の大寺」と呼ばれる大寺院であったと伝えられています。幾度となく火災に見舞われ、大御堂だけが再建され現在に至っています。現在は、本堂と庭園が周囲の里山に調和し、美しい姿を見せており、春には参道の桜並木や一面に広がる菜の花が、秋には紅葉がひととき目を引きまします。



さらに詳しい情報は  
こちらへアクセス



## 木津川市 KIZUGAWA-SHI



### 日本遺産・構成文化財

木津川市を含む、京都府南部の山城地域は、「抹茶」「煎茶」「玉露」を生み出し、「茶の湯」をはじめとする日本の喫茶文化を支え、リード

してきた「日本茶のふるさと」です。海住山寺、上粕茶問屋街、木津高校付属茶園・製茶工場のほか、現在も残る茶畑・茶工場・茶ゆかりの寺社などが、「『日本茶800年の歴史散歩』～京都・山城～」の構成文化財として、日本遺産に認定されています。

### 山城茶業之碑

山背古道沿いにある山城茶業之碑。山城茶業組合創立120周年を機に、山城茶の歴史を記念し、山城茶問屋ストリートの新たな発展の礎として建立されました。

さらに詳しい情報は  
こちらへアクセス

